

## 1. 豊田PCB廃棄物処理施設でのPCB廃棄物の受入について

豊田PCB廃棄物処理施設は、様々な大きさや種類のコンデンサ、トランスなどを受け入れています。



大型トランスの場合は、備え付けのクレーンを使って、収集運搬業者のトラックから降ろします。

写真は10トンの大型トランスを受け入れているところです。

大型のPCB廃棄物は搬入された後、検査をして解体処理を開始します。

前号の事業だより(No.102)で紹介した漏れ防止型金属容器の中に収まらない大型トランスは、ステンレス製の漏れ防止型金属トレイに入れて搬入されます。



比較的小型のトランスやコンデンサは大きさや種類別に分類して、自動立体倉庫で一時保管し、その後に解体処理を開始します。

## 2. PCB廃棄物処理事業検討委員会豊田事業部会を開催しました

### ●事業部会の目的

豊田PCB処理事業の安全かつ円滑な推進のため、定期的を開催し、処理システムや安全対策等について、技術的な助言・指導を受けています。

今年度2回目の豊田事業部会を10月5日(金)、豊田事業所内で開催しました。(主査:田中勝鳥取環境大学サステナリティ研究所長)



### ●事業部会の内容

- 1、7月と9月に発生した事故に係る原因と対策についての報告  
7月のSD剤漏洩及び9月の管理目標値を超えるおそれのあるベンゼン排出の2件の事故の原因と再発防止対策について、委員からご意見やご助言をいただきました。
- 2、豊田事業所の漏洩防止活動について  
PCB等の漏洩の未然防止活動の今後の進め方等について、ご意見やご助言をいただきました。
- 3、事故・トラブル発生時の情報開示とリスクコミュニケーションについて  
事故・トラブルが発生した場合等における情報開示やコミュニケーションの取組について、改善のための検討状況を報告しました。
- 4、豊田PCB廃棄物処理施設の処理の見通しについて  
豊田事業所の処理の現状と、処理が計画より遅れている理由及び現在検討を行っている今後の促進策等について報告しました。

## 3. 豊田PCB廃棄物処理施設の運転状況についてのご報告

平成24年10月の処理実績は右表のとおりです。  
順調に処理を実施しました。

24年10月の処理台数

種 別		処理台数
コンデンサ類		666 台
トランス類	大 型	4 台
	小 型	20 台
	車 載 型	3 台
廃PCB等		0 本
保管容器		2 個

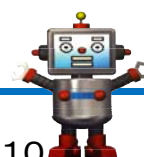


アザラシのピーちゃん

問い合わせ

日本環境安全事業株式会社(JESCO) 豊田事業所 0565-25-3110

【豊田事業HP】 <http://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>



デジ丸